

園評価委員の意見

項目	評価	
1 こども園教育全般について ・保育内容など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体計画や教育課程に小学校との接続の視点が明記されてことは評価できる。 ○ 教育課程が昨年よりも詳細になった。 ○ 保護者へのアンケート方法が改善され、保護者の精神的負担が軽くなった。 ○ 個からだんんだん集団へという流れが見られて勉強になりました。小学校もこの流れの続きをスムーズにつなげられるように努めていかなければと改めて感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表会の後ということで、ホールでは発表会ごっこが盛り上がり、各クラスでは好きな遊びにとことん取り組めるスペースや時間が確保されており、とても贅沢な時間を過ごしていると感じました。また、おもちゃや衣装・道具などが、子ども目線で整理されているのも良い環境が作られていると思います。「昨日作ったやつを作ろう」という言葉が聞こたので遊びが続いていることが分かりました。異年齢児との関わりが自然にできていました。
2 教職員について ・子どもに愛情と誠意を持って接しているか。 ・子どものよさを引き出そうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども同士のトラブルへの対応が心温かく感じた。 ○ 環境設定や援助に工夫が見られ子ども達を大切にしていることがよく分かった。 ○ 子どもたちの主体性を伸ばす活動を的確に把握していた。 ○ 子どもの連絡確認事項をしっかり共有していると思いました。（職員同士、職員と保護者） ○ 発達段階、子どもによって職員の接し方が違っていて、ねらいをもって保育していることが分かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのクラスの先生方も肯定的な言葉かけ（「すごいね」「できたね」「あと少しだね」）をされていて、子どもを大事にしているところが良かったです。 ○ 幼児クラスでは「なんでだろう」という投げかけのあと、子どもの発言を待ち、「そうだね、〇〇なんだね」と認める会話があり、自分で考えるを実践されていることが伝わってきました。
3 子どもについて ・表情豊かに過ごしているか。 ・元気さにあふれているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもらしい明るく楽しい表情が見受けられた。 ○ 観ることを楽しむ場の設定が子どもを安心させ、主体的に活動する意欲を育んでいた。 ○ 自ら表現する子どもたちの元気が前面にあらわれていた。 ○ 年中、年長になると子ども同士の関わり合いも上手になってくることを感じました。とても表情豊かに夢中になって活動していたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドレスを見せてくれたり、作ったものを見てくれる子が多く、園生活を楽しんでいる様子が伝わってきました。 ○ 部屋では真剣に物作りをする子の姿が多く見られ、今までの経験の積み重ねの姿なのだろうと感じました。落ち着いている姿に感心しました。
4 地域・保護者との連携について ・親しみやすいこども園だと感じられるか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の園への疑問がなくなってきたのは園の方針や活動がより良く理解されてきた証拠だと思う。 ○ とても親しみやすさを感じました。（雰囲気や職員の方の対応から） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援センターに一組の親子が遊びに来ていって、2歳児の子どもたちに交じって遊んでいる姿を見ました。先生とも子どもたちとも一緒に空間で遊べることは親しみやすさにつながっていると思います。
5 ⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表会の発表は良いアイデアだと思いました。発表会を見て自分たちもやりたいと感じた思いをとらえ、主体性を伸ばす環境・手段としたことは、研究テーマに見事にマッチしています。 ○ 大きなツリー、子どもの名前を入れた飾りをつけた配慮、松笠ツリーのできばえも良く、やる気・満足感を持たせる環境設定でした。続きを読むやる気持ちを汲んだこと、発表会の衣装を自由に選べる配慮、観る楽しみを設定したこと、年少の子どもたちの遊び道具の工夫なども感心しました。 ○ 子どもたちを自由に活動させた時の安全の視点も文章化してほしいです。建物が新しいこともあるでしょうが、全体に清潔感が感じられ、良い環境の中で保育が行われているのだと思いました。 ○ 掲示物や道具等の置き場所も安全に配慮されていることを感じました。 ○ 職員の方々のあいさつも気持ちよかったです。 ○ 音楽が流れる中での保育は、気持ちをリラックスさせ、集中力も引き出すのかと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究テーマの一人ひとりの子どもを大切に、自分で考え行動できる子に育てるに向かい、子ども一人ひとりの動き・表現・ことばを見守っている姿がいろいろな所で見られました。“自分で考える”は難しいことだと思いますが、「やってみたい」を引き出す工夫が発表会ごっこでも工作コーナーでも見られました。取り組んでいる成果があらわれてきているように感じました。 ○ 過ごしやすい環境づくりを子どもたちと一緒に進めていることが、トイレのスリッパコーナーで分かりました。どのクラスのスリッパもきちんと机の中にそろえてありました。次のことを考えた思いやり行動につながると思います。 ○ 特別支援の子の対応について質問できませんでしたが、事業所が併設されているので、今の子どもに必要な支援を考えながらも将来の姿をイメージしたり、事業所を通じてそのご家族の方々との交流ができるのならば、特別支援の子どもを持つ親にとっては心のよりどころなる場所ではないかと感じました。